

新型インフルエンザに感染した新規高等学校
卒業予定者等に対する就職選考試験の受験機会
の確保について（要請）

雇用対策の推進につきましては、日ごろ格別の御尽力を賜り厚くお礼申し上げます。

また、平成22年3月新規高等学校卒業予定者の就職活動等について多大な御協力をいただいていることに対し、重ねてお礼申し上げます。

御案内のとおり、平成22年3月新規高等学校卒業者の県内における求人状況は、8月末現在県内求人が2,413人、県内就職希望者は3,927人、求人倍率は0.61倍で、前年同月比で求人数は2,099人減少、県内就職希望者は680人減少、求人倍率は0.37ポイント減少と大変厳しい状況にあります。

こうした中、全国的に新型インフルエンザが流行しており、行政及び学校をあげて、うがい・手洗い等の感染防止対策に努めているところではありますが、今後の広がりによっては、県内での就職を希望する生徒が新型インフルエンザを発症したことにより、就職選考試験を受験できないことも考えられます。

つきましては、貴団体傘下の事業主が就職選考試験を行うに際し、学校から新型インフルエンザに感染した生徒の試験期日等に関する相談があった場合には、追加試験の実施等就職選考試験の受験

機会の確保につきまして、特段の御配慮を賜ります
よう、会員の皆様方への周知方よろしくお願い申し
上げます。

平成21年9月25日

宮城県中小企業団体中央会
会長 佐伯昭雄 殿

宮城労働局長 小山 浩



宮城県知事 村井 嘉浩



宮城県教育委員会
教育長 小林 伸

